

令和5年度 学校自己評価システムシート (県立常盤高等学校) s 36

目指す学校像	豊かな人間性、確かな知識・技術を兼ね備えた看護のスペシャリストの養成
--------	------------------------------------

重点目標	1 主体的な学びを促進する魅力ある授業を追求し、授業改善を推進することで、学力の一層の向上を図る。 2 教職員一丸で社会の変化に対応できる教育活動を実践することで、心身ともにたくましく規律ある生徒を育成する。 3 看護職への自覚を高めるとともに、看護師としての職業観・倫理観を育成するキャリア教育を推進する。 4 地域・保護者・関係機関との連携強化と効果的な情報発信により、愛され信頼される学校づくりを推進する。
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	学校関係者	名
	生徒	名
	事務局(教職員)	名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価							
年 度 目 標				年 度 評 価 (月 日 現 在)			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	
1	現状 ○コロナ禍において、ICT機器活用を推進し、授業改善やオンライン学習を行っている。今年度から一人1台タブレットを導入する。新学習指導要領の全面実施は2年目である。 ○臨地実習体制がほぼコロナ前の状況に戻りつつある。 課題 ○新学習指導要領の円滑な実施 ○一人1台タブレットの円滑な実施等ICT機器の効果的活用 ○ポストコロナにおける病院実習の効果的な指導 ○授業アンケートの実施による授業改善	○育てたい看護師像に向けた学力定着と看護技術向上を図る。	①授業及び実習計画の精選を行い、ICTの活用と応用及び校内実習プログラムの構築の工夫、充実を行う。 ②ICT機器の活用等や教員研修(対面・オンライン等)により授業力の向上を行う。 ③授業評価のために授業アンケートを行う。 ④臨地実習において病院と連携し、学習意欲と看護技術の向上を図る。	①各教科・科目の授業で、シラバスや目標に近づく授業実践ができたか。 ②授業に対する興味関心及び理解度は向上したか。(授業アンケート) ③授業に対する興味関心及び理解度は向上したか。(授業アンケート) ④臨地実習が効果的に実施できたか。			次年度への課題と改善策
2	現状 ○多くの生徒は基本的な生活習慣が確立し、落ち着いた学校生活を送っているが、一部の生徒で家庭的な問題等を抱え、支援を必要としている。 ○生徒指導部や各学年を中心に生徒へのきめ細やかな指導ができています。 課題 ○組織的な指導を継続することで日常の生徒の様子を観察し、心のケアに取り組む必要がある。 ○成年年齢引下げに伴う生徒の「自立と自律」を促す指導の工夫が必要である。	○将来の看護師として、健全で社会性のある心と態度を育てる。	①生徒指導部及び学年団を中心とした適切かつ積極的な声掛けにより生徒理解を深める指導体制を継続して行う。 ②生徒支援委員会をはじめ、家庭及びスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど外部機関との連携により個に応じた支援を行う。 ③日々の教育活動をはじめ学校行事や部活動及び校外活動を通して生徒の自立性や自律性、積極性、協調性を高める。	①組織的・日常的に生活指導を実施し、生徒の行動が変容したか。 ②外部の専門職との連携や計画的・継続的な指導により、生徒の生活状況や学校生活の満足度は向上したか。 ③ポストコロナで変化のある中、実施時期や規模、内容など効果的に各種行事や部活動の実施ができたか。 ④日々の教育活動において生徒の自立性・自律性を高めることができたか。			
3	現状 ○就職試験日程の早期化に伴い、個に応じた指導を行っている。 ○昨年度の看護師国家試験も全員合格であり、合格率は高い水準を保っている。 課題 ○看護師国家試験の高い合格率を達成するために、計画的・継続的な指導を実践することが必要である。 ○高校生からの段階的な進路指導体制を整理し、早い段階から自発的・能動的な進路意識を育成することが必要である。	○目指す看護師像の追求及び看護師国家試験合格を目指す。	①進路の手引きの見直しを図り、進路ガイダンスを実施することで、低学年から進路情報を提供する。 ②キャリアプロジェクトにてポートフォリオを作成し、「なりたい看護師像」の自己形成を支援する。 ③ポストコロナの状況でより効果的な病院説明会や進路講話、修了生懇談会等を行い、生徒の進路希望実現を支援する。 ④看護専攻科及び進路指導部と学年が連携し、看護師国家試験対策及び進路対策を組織的に行う。	①効果的な進路行事を提供することができたか。 ②キャリアポートフォリオを作成することができたか。 ③生徒の進路希望が実現できたか。 ④高い看護師国家試験合格率を達成できたか。 ④進学希望者の進学が実現できたか。			
4	現状 ○連携病院や大学並びに保護者の協力により、専門性の高い教育活動が推進されている。 ○県内各地から、看護師を目指す生徒が集まってきているが、昨年度は倍率が1.02倍と前年度より志願者が減少した。 課題 ○ホームページ・学校説明会・高大連携等を積極的に活用し、保護者・地域・関係機関との連携強化や本校への理解を深める。 ○医療機関及び大学、地域や保護者と連携し、よりよい情報交換を行うことで課題を発見し、教育活動を改善することが必要である。さらに生徒の社会性を育てる機会とすることも必要である。	○情報機器等の活用や学校説明会等において本校理解のための工夫改善を行い、保護者・地域・関係機関との連携強化を促進させる。	①学校説明会の工夫と外部向けイベント(彩の国進学フェア、産業教育フェア等)への積極的参加により、本校の魅力を発信する。 ②客観的評価や課題解決のため保護者アンケートを行う。 ③学校ホームページ(常盤ブログ等)更新や一斉メールの活用により、保護者への情報発信頻度を高める。 ④生徒が外部との情報交換の機会を持つことで社会性を育てる。	①学校説明会・体験入学の参加者を増加させ、志願者数は増加したか。 ②本校の現状と課題を把握し、改善策を考察することができたか。(保護者アンケート) ③ホームページのアクセス数は増加したか。 ④生徒が外部との情報交換を通して、社会性を高めることができたか。			

学校関係者評価
実施日 令和5年 2月 7日
学校関係者からの意見・要望・評価等